

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		令和4年度第1回川西市図書館協議会	
事務局(担当課)		教育推進部 中央図書館(内線4581)	
開催日時		令和4年 8月 1日(月) 16時00分 ~ 17時10分	
開催場所		川西市立中央図書館 5階 視聴覚室	
出席者	委員	藤岡三恵委員、福田史江委員、小和田勉委員、倉橋茂樹委員、 上田章子委員、中村康子委員、中村恵信委員	
	事務局	藪内副部長、村山館長、生田館長補佐	
傍聴の可否		可	傍聴者数 2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		1.開会 2.会長・副会長選出 3.報告事項 (1)令和3年度事業報告について 4.協議事項 (1)令和4年度図書館予算・運営について 5.その他 6.閉会	
会議結果		別紙のとおり	

審 議 経 過

令和4年度第1回川西市図書館協議会

1. 開会

事務局進行

出欠及び協議会成立の確認と協議会委員構成の説明。

傍聴の説明。

2. 会長・副会長の選出

会長 中村恵信委員、副会長 中村康子委員を選出した。

3. 報告事項

(1) 令和3年度事業報告について

事務局より、別添資料にもとづき説明、報告の後、意見交換と質疑応答が行われた。

質問・意見等(要旨)

委 員： 貸出冊数が増えているが、業務日数が増えたことが原因なのか。

事務局： 業務日数が増えたことありますが、新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）が収まり、外出数が増えたことも一因と考えられます。

全ての数値で令和3年度が令和2年度を上回っていますが、コロナの影響を受けていない平成30年度の水準には戻っていません。

事務局： 指数に関して令和2年度の数値であります。兵庫県下の他市町の公共図書館と比べると、川西市の市民一人当たりの蔵書冊数は2.1冊、県内で下から4番目です。蔵書回転率は川西市1.6回で、県平均1.3回です。1冊書籍を購入すると効率よく貸出しに回していると言えますが、一人当たりの蔵書冊数の少なさと連動しています。

人口一人当たりの貸出冊数3.3冊ですが、兵庫県下38市町中32番目です。猪名川町立図書館などは自動車を利用できますが、当館は駅前立地で駐車場が無いので、持ち運びできる数に限られます。また、利用者の高齢化も影響していると思われます。

市民一人当たりの資料費は、川西市が133.1円となっており、人口規模の大きな尼崎市や西宮市よりは高くなりますが、阪神間の他市町よりも低い値になっています。

基礎データの蔵書冊数には、電子書籍は含まれていません。

年間行事ではコロナの影響により、ビデオ上映会の回数を減らして実施しました。現在も回数を減らして実施しています。

乳児、幼児・児童向けのおはなしのくにもコロナ前は、毎週土曜日、午前・午後に実

施していましたが、回数を減らしており、現在は月に2回午前のみ開催です。

読み聞かせボランティアとの打ち合わせでは、コロナの感染状況をみながら、回数を増やしたり、場所を5階視聴覚室から4階フロアに戻すことも予定しています。

高齢者向けのスマートフォン講習会には定員を上回る応募があり、今年の秋にも開催する予定です。

図書館開館30周年記念行事として、「川西むかしむかし」の出版や、記念クリアファイルの配布を行いました。

見学・実習・体験では、市内小学校に出向き2,3年生を対象とした図書館の学校を開講しました。今年度は、こちらから出向くのではなく、図書館を訪ねていただき、見学する形態が増えています。図書館の学校についても2件ほど問い合わせがあります。

小学校新任教諭初任者研修は、今年度3名受け入れ予定です。

委員： スマートフォン講座の定員は。

事務局： 初心者向けと所有者向け、各20名です。

4. 協議事項

(1) 令和4年度図書館予算・運営について

事務局より、別添資料にもとづき説明の後、意見交換と質疑応答が行われた。

質問・意見等(要旨)

委員： 図書館人件費について令和3年度に比べ令和4年度が大きく減額されている要因は。

事務局： 職員数は5名で同じですが、管理職の人数が人件費に影響しています。

委員： 資料の「主な増減要因または内訳」に記載しても良いのではないか。

図書館維持管理事業の需用費でも「主な増減要因または内訳」に図書館専用エレベータ2基を修繕したことを記載したほうが良いのではないか。

事務局： 委員のご指摘のとおりです。

図書館維持管理事業の補足説明をさせていただくと、負担金、補助金及び交付金の項目でアステ川西管理組合の修繕積立金の単価が1月・1㎡あたり令和3年度70円が140円となっています。

また、書庫の不足を補うため、アステ川西5階に新たに書庫を確保しました。そのような費用を含めて402万円増加しています。

委員： 天井照明等のLED化はどのように考えているのか。

電気代の高騰やSDGsの観点からも急ぐ必要があるのでは。

事務局： 図書館単独ではなく、市の公共施設全体でLED化を計画、要望しています。

委員： ICTタグについて、1枚どのくらいになっているのか。

事務局： 2方式あり、1枚22円もしくは28円となっています。

ICタグ検討にあたり、近隣市町の導入状況を調査しました。大阪の北摂や阪神間の伊丹市、宝塚市、西宮市などで導入され、自動貸し出し機や予約本の受け渡しなどを行っています。

コロナ対応や作業の効率化など見据え、当館のみ取り残されないようICタグの導入を検討します。

蔵書32万冊にかかるICタグの装着費用や機器の購入など初期費用はかなり掛かりますが、導入以降の図書の管理はかなり省力化できると考えています。

5. その他

委員： 読書週間の行事として「ぶっくろ」(お楽しみ袋)を実施されていますが、読後の感想をデータ化し今後の活動にフィードバックできないか。

ぶっくろには、おはなし会など他の行事に使う人気のある本も利用しているが、良書でありながら、貸し出されていない本を選書し、詰め合わせるのも一考と思う。

事務局： ぶっくろは、いろいろな登録グループに選書を依頼しています。読后感想をその後の活動に生かす方策を検討します。

人気のない貸出し回数0の本に光を当てる企画も考えていきたいと思います。

委員： 令和4年度の重点目標に「タイムリーな企画展示を実施します。」とあります。市内では様々なイベントが開催されています。その会場を訪れる人に働きかけるような展示をしてはどうか。例えばモルックの本を集めて、モルック競技の会場とコラボレーションのようなことは考えられないか。

事務局： 折を見て情報収集し、企画展示に活かしたいと思います。

事務局より、次回は11月頃に開催予定を伝えた。

6. 閉会

以上

資料については、市政情報コーナーに設置しています。